

### 1 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0572108645		
法人名	バンドーケアポート株式会社		
事業所名	グループホーム バンドー北欧の里		
所在地	秋田県北秋田市下杉字上清水沢15-1		
自己評価作成日	平成22年11月30日	評価結果市町村受理日	

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「住み慣れたこの地域で、笑顔を決やさずいきいき」という理念を掲げ、利用者が明るく生きがいを持って地域と交流しながら生活する事を支援する為、職員心得を定めてケアにあたっている。また、管理者が看護師である利点を生かし、通院時には常に付き添い、医師と直接面接することで病状の変化や服薬に関して指示を貰うなど、利用者の健康管理に細心の注意を払いながらケアにつなげている。母体法人は、県内外に10か所のグループホームを運営しており、「自己点検シート」による業務の振り返りや「生活(暮らし)アセスメントシート」による利用者の状態把握など、独自の統一した様式を活用してサービスの向上に活かしている。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://kaigo-service.pref.akita.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0572108645&amp;SCD=320">http://kaigo-service.pref.akita.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0572108645&amp;SCD=320</a>
----------	---

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

日頃の利用者の活動状況、事業所周辺の出来事が写真やコメントによって公開されており、事業所独自の理念である「住み慣れたこの地域で、笑顔を決やさずいきいき」が実践されている様子が窺えます。周辺に居住者が少なく、地域に事業所の存在を知ってもらうことから始め、運営推進会議において事業所内の取り組みを広く伝え、理解と協力を得られるまでになった事業所であることが、詳細な記録で確認できました。また、環境をうまく取り入れ、豊富なアイデアで、ポジティブに多くのことに取り組み、利用者が生き活きと笑顔を絶やさず、楽しんでる様子が窺え、家族等も安心してお任せできる事業所であると感じました。

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会		
所在地	秋田市東通3丁目9-31		
訪問調査日	平成22年12月22日		

### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者と管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	合計10ヶ所あるグループホームで企業理念の共有を図りながら、事業所理念も掲げサービスの向上に努めている。企業理念として「親孝行」、事業所理念として住み慣れたこの地域で、笑顔を絶やさずいきいきとを掲げ、申し送り時やカンファレンス時に理念に基づいた事を伝えている。	地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所独自の理念を作り、事業所内に掲示するとともに、申し送りやカンファレンス時に話合われ、実践に繋げております。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議の案内を(入居者家族・福祉課職員・包括職員・交番所長・消防署所長・民生委員)と増やし、参加を募り、更に会議以外の交流を行う(グループホーム行事への参加等)。又、面会者や見学者を受け入れる事により理解をいただける様努めている。	周囲に民家はほとんどなく、運営推進会議を通じてホームの存在を広く呼び掛け、行事への参加依頼、敬老会や地域行事への参加等され、交流を図られています。また、行事や野菜を持って来訪していただき、お茶を一緒にされる方もおります。	
3		○事業所の力を活かした地域とのつながり 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に伝え、地域貢献している	管理者は、地域の女性の会の集会で「認知症と地域の役割」という講演をさせていただいたり、看護協会秋田県支部活動を通し談話の中で「認知症」に関わる話題提供をさせていただいている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	日程の調整に努めながら一人でも多く参加いただけるようにし、3ヶ月に一回の割合で開催している。当日は「昼食の検食」をしていただき評価をいただいたり、サービスに関する事の意向等を確認している。会議の議事録は御家族・委員に配布し共通認識を図っている。	行事報告、状況報告の他、写真を交えた活動報告、災害対策、認知症について、情報の公表、外部評価等忌憚の無い意見交換が行われ運営に反映されています。さらに、2か月に1回の開催に取り組まれています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	管理者が「地域ネットワーク」事業や地域医療推進会議の委員又は看護協会秋田県支部の地区理事として行事や会議に参加し情報交換に努めている。他、行政や社協からの利用相談を機会に情報交換を行っている。	利用者の現状相談や制度、手続き上の相談、助言をいただく等の連携をとられています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	年一回は定例の学習会及び各個人の積極性を期待し、資料の熟読する機会を促し「拘束となる具体的な行為」の確認に努めている。又、施錠に関しても適性を見極め安全を重視した内容で施錠しない方向で実施している。	研修会で周知するとともに、言葉によって拘束することの無いように注意し合っています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	年一回は定例の学習会及び各個人の積極性を期待し、資料の熟読する機会を促し「虐待となる具体的な行為」の確認に努めている。更にカンファレンスでその都度具体的な話題をし、内容共有に努めている。		

グループホーム バンドー北欧の里

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者の習得した「権利擁護」に関する知識を学習会を通して共有している。「成年後見制度」に関しても資料をもとに学習している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	本部の入居説明担当者もしくは管理者が入居対象となられた方及び御家族と数回の面談や連絡を取る事で理解頂いている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホーム内に「苦情箱」を設置し苦情相談を受ける体制を整えている。面会後も御家族とだけの時間も持ち、お話を伺うようにしている。また、利用者からは日常的な会話の中から、意見や要望を伺っている。	利用者からは日々の会話の中で、家族等からは面会時や電話や収支報告時に状況を伝え、意見や要望を引き出す工夫をされ、運営に反映されています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月一回、カンファレンスを開催し、業務検討にて意見や提案を聞いている。その意見を部長やグループホーム統括ケアマネージャーに伝え代表者に提案してもらうほか、直接、代表者に提案する事もある。又、代表者も定期的にホームに足を運び、直接職員からの話を聞いている。	遠慮せずに言える雰囲気を作られ、代表者に伝え運営に反映されています。また、代表者に直接伝えられる場も作られています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	キャリアパス制度の導入や介護職員の処遇改善を行って、職員に向上心を持たせるようにしている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、代表者自身や管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修を年12回行い、知識・技術の向上を図っている。管理者の経験や能力等によっては、より専門性のある研修等へ受講する機会を設けている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、代表者自身や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	代表者は、同業者との交流を積極的に行っている。職員は、外部研修に参加する事で、他事業所との交流の機会となっている。		

グループホーム バンドー北欧の里

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	管理者は事前訪問を数回行い、センター方式のアセスメントを活用しながら情報収集し理解を深めている。希望時にはグループホームの見学や説明など常時行えるようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	コミュニケーションを取るようしており、情報提供と共に意見や要望を聞き、関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている ※小規模多機能型居宅介護限定項目とする			
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	いち早く、その方の一番興味や活気の出る内容を把握し、会話や作業に取り組めるように努力している。ADLの自立も含め体幹を使えるレクや作業への参加を期待しながらコミュニケーションに努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族へホームでの状況を電話や手紙・面会時に伝えたり、行事の参加を依頼する事で共に本人を支えていくという関係を築いている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会の自由：常時面会可能・連絡(電話)依頼時対応常時出きるようにしている。 外出の自由：御家族の申し出のもと外出は常に可能であり、許可があればスタッフだけ同伴で出かけることもある。	友人や知人との電話での交流、通い慣れた理美容院や自宅訪問、親戚や知人の面会等、利用者の希望に沿って、関係が継続できるように支援をされています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	それぞれの個性や特徴を見極め無理なく誘い、又その時々の方分の持ち方に慎重に対応しながら共同作業・レクリエーション等への参加を促し「共有」を図っている。又、特別同伴行動をとられる方々には見守りながら自由にしていただいている。		

グループホーム バンドー北欧の里

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他施設に移動された方への状況伺いの連絡を行い、又御家族の許可をいただき他入居者様同伴で面会に伺うこともある。退居後でも御家族からの相談には応じている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者の生活歴や御家族の情報などから御本人の「興味のある事や思い」を抽出し希望に合わせ可能な限り対応できるようにしている。又意思表示のできない方には、その時々の内容に合わせ退屈しないように関わっている。	日々の関わりの中で利用者の思いや意向を把握され、困難な場合は、表情や仕草から利用者本位に検討されています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前から居宅支援事業所との連絡を密にとり御本人の情報収集に努めている。又、御本人の様子から伺える希望的内容を把握できるように努力している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	月一回のカンファレンス時に受け持ちスタッフを中心となり御本人の「健康面・周辺症状に関わる内容・持ち物の検討」を行っている。スタッフ全員から寄せられる情報を元にその人らしい生活が送れるように努力している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	センター方式のアセスメントシートや施設独自のADL評価表を用いてスタッフ全員参加によるカンファレンスで検討している。また、御本人・御家族の要望を取り入れた上で計画を作成している。	担当制をとられており、アセスメントシートに気づきを記入。カンファレンスでモニタリングと話し合いが行われ、介護計画書が作成されています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人情報と健康管理別に個人ファイルにして綴っており、各勤務毎に「ケアの内容・状態」等の記録を行っている。更に「状態記録」として、介護・看護支援経過にも書き込めるような様式を作成し、毎日のバイタルサイン・状態の記録を行ないスタッフ間で情報を共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる ※小規模多機能型居宅介護限定項目とする			

グループホーム バンドー北欧の里

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	①ボランティア：見学の受け入れ・行事参加 ②福祉課関係者・警察・包括・消防関係者・民生委員の皆さんからの運営推進委員会でのご意見反映を図るようにしており・管理者の医療的人脈を活用し医療機関との連絡も取りやすくなっている。		
30	(11)	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療協力機関として内科クリニック・歯科クリニックとの契約が交わされており、薬局においてもかかりつけの薬局を持っている。受診に関しては必ず看護師が同伴しており、状況を医師に伝える事で適切な治療が受けられるようにしている。	利用者・家族等との話し合いのもと、これまでのかかりつけ医が利用できるように受診及び薬の受領等、全面的に支援され、報告が行われています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	管理者が看護師であることより、状態報告時のマニュアルや経過を記録していく必要がある状態に関しては看護計画書を活用している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	管理者が看護師であり地元病院に長く勤務して得た人脈をフルに活用し、入居者様御家族の意向を重視した管理や申し出ができています。看護協会の役員という立場より定期的な中核病院の看護師との接触や意見交換なども可能であり、状況に応じて相談に応じてもらっている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重症化した場合や看取りに関する指針を定め、更に看取りを望まれた場合は協力医療機関の医師と綿密に相談し連携できるように体制を整えている。	医療体制を理解していただいた上で、医師、家族等と十分に話し合い、連携のもと指針に沿って終末期ケアの実施に取り組まれています。職員は、方針を理解され共有されています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	正しい情報を手際よく管理者に報告し指示を仰ぐことを優先し「マニュアル」を作成している。日頃の体験やアドバイスを教育の一端とし研鑽に努め、救急薬品やバイタルチェック用品の装備と使い方の実践に努めている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	運営推進委員会への消防署長の参加が叶っており、実践的なアドバイスをいただくことができています。又 防火管理者資格を管理者が取得し、年2回の避難訓練の実践・グループホーム内でイメージトレーニングを図るためマニュアルに沿って月2回全員が訓練体験をしている。	年2回の消防署員立ち会いの避難訓練の他に、民家もなく、近隣住民の協力が得られないことから、宿直を設け、月に2回事業所独自の訓練を体験する等され、災害対策を行っています。	

グループホーム バンドー北欧の里

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	馴れ合いになり失礼な言葉かけになっていないかと、過去「自己チェック」した経緯があり、現在も皆で継続して注意しあっている。 個人ファイルの管理を厳重にし個人情報保護も留意している。	利用者一人ひとりを尊重され、誇りやプライバシーを損ねることの無いように、慣れ合いとなっていないか等、検討され、お互いに注意をしあって意識の向上に努められています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の理解度に合わせた会話内容に心がけ、常に本人中心のやり取りができるようにしている。否定的なことは言わないようにし人間関係の構築を大切にしていきたいと努力している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事・ティタイム・おやつなど一応決まった時間のお誘いはするが本人次第で参加していただいている。絶対という日課は設けていない。 作業や行事参加・レクリエーション等もお誘いはするが強要はせず見守っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している ※認知症対応型共同生活介護限定項目とする	希望により「美容室」や「理容室」にお連れしている。出かけるのが困難な方には定期的に美容師(ボランティア)に来ていただきヘアースタイルなどしていただいている。又お化粧をされている方への化粧品の補給にも努め、衣類の買い物も必要に合わせ出かけている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	スタッフも同伴し食事し、介助・観察しながら軽い会話に心がけている。 又食材の下準備など可能な内容は手伝っていただく事があり、下膳・食器拭き・おしぼり干しなども作業項目に入っている。	利用者一人ひとりの力が発揮できるように、できることのお手伝いをいただき、生き生きとした表情や笑顔、会話で楽しんで食事を召し上がっておられました。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	法人の栄養士にカロリーチェックを含め一週間分のメニュー(食材の種類・量記載)と写真を添え評価をいただいている。食事摂取量のチェック・水分の定期または随時の提供・月一回の体重測定で体重の推移をみるなど行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の義歯の清掃・入眠前には可能な限り(本人が外すのを拒まない限り)一晩「義歯洗浄剤」に浸している。 歯ぐきで過ごされている方には食後必ずお茶を飲用していただいている。		

グループホーム バンドー北欧の里

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄の失敗については「失意」の大きさを重んじ、他入居者様に悟られないように配慮している。便回数については下剤の有無とチェックできるように様式を作り活用している。排尿に関しては随時誘導し対応している。	一人ひとりの状況を把握され、時間や声掛けによってさりげない誘導が行われ、トイレでの排泄に心がけておられます。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	習慣的便秘の方には便の性状に合わせ「薬物の管理」を行うが、基本的にはその方の習慣的な便回数を基に「水分・野菜・果物・運動」とより分けて実施している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週2回の入浴日を設定しているが、入浴日以外でも足浴日・陰部浴日を設け本人の希望と状況・予定に合わせて柔軟に組み替えている。入浴後の身だしなみやヘアブロー等は御本人の意向に添うよう鏡を見ていただきながら介助している。	基本的には週2回の入浴、足浴、陰部浴等に分けて実施されていますが、利用者の希望や状況によって入浴はいつでも可能です。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼寝・居室で過ごす時間・就寝時間など本人の希望に合わせている。睡眠を妨げられる内容がある場合はその除去に努め、必要であれば医療機関への相談をしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬の情報は「個人の健康状態ファイル」に綴られており、常時見れるようにしている。効果・副作用的な内容についてもカンファレンスで個人の健康に関する内容で情報提供している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様それぞれの力量を見極めた「調理・後片付け・掃除・草取り・洗濯関係・畑作り・枯れ葉拾い」など季節や環境に合わせた色々な作業的な場作りに努めている。又、通院時はスタッフが同行しているが、帰途、買い物・ヘアカット・ドライブ等の対応もしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している ※認知症対応型共同生活介護限定項目とする	環境的にお天気に合わせホーム前での簡単な試みは急にも実現できている。又、年間行事においても全入居者様の身体機能レベルに合わせて計画するが、更に御家族の参加も募りその遂行を心がけ、思い出となる行事や外出を心がけている。	散歩や事業所前での外食、畑作り等が日常的に行われている他、ドライブや花見、施設訪問、外食等々、普段行けない場所への外出も多く、写真にコメントを載せ、記録として残し、公開しております。	



グループホーム バンドー北歐の里

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を管理できる方は現在おらず、こちらでお預かりしている。通院や消耗品の他、希望があればお預かり金から買い物をしている。御本人と出かけた時はレジでの支払いを見守りながら御本人にさせていただくこともある。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御希望に合わせて通信援助はしている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	床下に「備長炭」を敷き詰め、消臭効果を期待できる作りになっており、入居者は他室以外どこでも出入り可能になっている。更に花壇の花も観賞でき、ホーム内でも緑を強調するために観葉植物を這わせたり、季節のイベントに合わせた置物や貼り物なども心掛けている。窓は常に外の景色が見れるようにしている。	床下に備長炭を敷き臭い対策をされている他、差し込む光にも配慮が観られます。また、対面式のキッチンや食器棚、ソファ、フラットな畳スペース、テレビ、写真、観葉植物、季節の置物等々、広さに違和感なく、家庭的な雰囲気を醸し出しております。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている ※認知症対応型共同生活介護限定項目とする	フロアーの活用・廊下でも談笑できるように椅子の設置・玄関にも外が眺められるような椅子を準備している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	御家族・御本人のご希望の物は入居後でも持ち込み可能にしている。テレビの設置も可能で全室アンテナラインを引いている。 御家族の遺影や位牌等も持参され毎日合掌されている方もいる。	身の回りに必要と思われるものを持ち込まれ、利用者一人ひとりが安心して居心地良く過ごせるように工夫されています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	衣類の管理や排泄の失敗に関わる工夫など本人と相談しながら行っている。 作業のやり方(片づけ方・手順など)など御本人の好みを重点に見守っている。		